



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年7月24日

上場会社名 株式会社シモジマ

(コード番号：7482 東証第一部)

(URL <http://www.shimojima.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

(TEL:(03) 3862 8626)

下島和光

責任者役職・氏名 取締役経理本部長

谷中浩三

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	10,569	6.5	736	4.0	774	0.3	425	0.3
18年3月期第1四半期	9,923	5.9	707	4.7	772	3.7	424	4.3
(参考)18年3月期	42,731	6.6	3,706	4.1	3,961	2.4	2,263	2.4

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	17	56		
18年3月期第1四半期	17	50		
(参考)18年3月期	91	54		

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など景気の回復傾向が見られますが、一方では、原油価格の高騰による原材料高や長期金利の上昇懸念など、最終消費は依然不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社は「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発及び提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第1四半期の新規出店は1店舗、増床を含めたりリニューアルを6店舗おこないました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、統一売出等をおこない売上高の増進を図りました。ディーラールートでは、生花・園芸及び花材業界への販売が引き続き好調に推移するとともに、更に新規販売ルートの開拓も順調に進んでおります。ユーザールートでは、提案型営業による専門店等への新規開拓が順調に進み、取引先の拡大及び売上高の増加を達成しております。この結果、営業販売部門の当第1四半期売上高は69億29百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、名古屋店が幅広い品揃えにより売上げを順調に伸ばしております。また、ギフトラップ館や心齋橋店を中心にプライダル関連商品の売上が伸びております。この結果、直営店販売部門の当第1四半期売上高は36億40百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

これらの結果、全社の当第1四半期売上高は105億69百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰を続けており、販売価格への転嫁が限定的であったことなどから、全社の売上原価率は上昇いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては、小口配送の拡大により物流費が増加しております。

この結果、当第1四半期の営業利益は7億36百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益は7億74百万円(前年同期比0.3%増)、四半期純利益は4億25百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	29,417	23,545	80.6	971.29
18年3月期第1四半期	29,796	24,787	83.2	1,022.40
(参考)18年3月期	29,601	23,598	79.7	973.45

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	201	274	424	5,452
18年3月期第1四半期	185	371	252	5,087
(参考)18年3月期	2,093	1,084	561	6,324

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成18年3月期末との比較であります。)

資産の部においては、流動資産が4億15百万円減少いたしました。これは田沼倉庫建築費の支払いと配当金、納税等の資金流出により、現金及び預金が8億72百万円減少したことと、棚卸資産が4億1百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は2億32百万円増加いたしました。これは有形固定資産(田沼倉庫建物取得のための建設仮勘定)の増加等によるものであります。資産全体では1億83百万円減少し総額294億17百万円となりました。

負債の部においては、流動負債が1億52百万円減少いたしました。これは未払法人税等が納税により8億4百万円減少しましたが、仕入の増加に伴い買掛金が3億94百万円増加したこと等によるものであります。これらにより負債合計では1億31百万円減少し58億71百万円となりました。

純資産の部においては、利益剰余金が52百万円減少したことにより、235億45百万円となり自己資本比率は80.6%となりました。

当期中における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、2億1百万円減少いたしました。これは売上等の営業収入より仕入等の営業費用及び法人税等の納付額の支出合計が多かったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2億74百万円減少いたしました。これは主に田沼倉庫(佐野市)増設のための建築費の一部決済等のための支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、4億24百万円減少いたしました。これは期末配当金の支出によるものであります。

【参 考】

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	21,135	1,574	890
通 期	44,748	4,105	2,321

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 95円75銭

注)1:1.2の分割後の株式数 24,242,194株で算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の業績予想につきましては、平成18年5月15日発表の業績予想を修正しておりません。

[添付資料]

1 . (要約) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月 期第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月 期第 1 四半期末)	増 減		参 考 (平成 18 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	15,494	14,396	1,097	7.6	15,910
現金預金	5,452	4,907	545	11.1	6,324
受取手形	863	819	43	5.4	801
売掛金	3,751	3,517	234	6.7	3,676
たな卸資産	4,897	4,341	555	12.8	4,495
繰延税金資産	225	194	30	16.0	225
その他	357	620	262	42.4	396
貸倒引当金	52	4	48	1,200.0	8
固定資産	13,923	15,399	1,475	9.6	13,691
有形固定資産	12,163	11,549	613	5.3	11,948
無形固定資産	49	55	5	10.9	49
投資その他の資産	1,710	3,794	2,083	54.9	1,693
繰延税金資産	133	150	17	11.3	133
再評価に係る繰 延税金資産		2,259	2,259		
その他	1,583	1,391	192	13.8	1,610
貸倒引当金	7	7	0	0	51
資産合計	29,417	29,796	378	1.3	29,601
(負債の部)					
流動負債	4,699	4,304	395	9.2	4,852
支払手形	303	300	3	1.0	256
買掛金	2,881	2,504	377	15.1	2,486
未払金	549	498	51	10.2	463
未払法人税等	311	323	11	3.7	1,115
その他	653	678	24	3.7	531
固定負債	1,172	704	468	66.5	1,150
預り敷金保証金	148	236	88	37.3	142
退職給付引当金	83	74	8	12.2	76
役員退職慰労引当金	423	392	31	7.9	413
再評価に係る繰延 税金負債	517		517		517
負債合計	5,871	5,008	863	17.2	6,003

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月 期第1四半期末)	増 減		参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資本の部)					
資本金		1,405	1,405		1,405
資本剰余金		1,304	1,304		1,304
利益剰余金		25,328	25,328		26,871
土地再評価差額金		3,293	3,293		6,069
その他有価証券評価 差額金		56	56		103
自己株式		13	13		16
資本合計		24,787	24,787		23,598
(純資産の部)					
株主資本	1,405		1,405		
資本剰余金	1,304		1,304		
利益剰余金	26,819		26,819		
土地再評価差額金	6,069		6,069		
その他有価証券評価 差額金	103		103		
自己株式	16		16		
純資産合計	23,545		23,545		
負債・純資産合計	29,417	29,796	378	1.3	29,601

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月 期第1四半期)	増 減		参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	10,569	9,923	645	6.5	42,731
売上原価	7,283	6,784	500	7.4	29,154
売上総利益	3,285	3,138	147	4.7	13,577
販売費及び一 般管理費	2,549	2,430	118	4.9	9,871
営業利益	736	707	28	4.0	3,706
営業外収益	99	83	15	19.3	362
営業外費用	60	19	41	215.8	106
経常利益	774	772	2	0.3	3,961
特別利益					
特別損失					1
税引前四半期 (当期)純利益	774	772	2	0.3	3,960
税金費用	349	348	1	0.3	1,697
四半期(当期) 純利益	425	424	1	0.3	2,263

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月 期第1四半期)	参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	185	2,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	274	371	1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	252	561
現金及び現金同等物に係る換算差額			18
現金及び現金同等物の増減額	899	808	429
現金及び現金同等物の期首残高	6,324	5,895	5,895
現金及び現金同等物の期末残高	5,452	5,087	6,324